

研究協議会 お疲れさまでした！

9月5日（火）の課題部会研究協議会には、たくさんの方にご参加いただき、本当にありがとうございました。久しぶりの対面での協議研究会となりましたが、無事に終えることができ、本当によかったです。ご協力どうもありがとうございました。

また、アンケートへの回答もありがとうございました。以下、皆さんからの意見の一部を掲載しています。これらの意見をもとに、次年度以降の研究を進めていきたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

アンケート結果

(1) 今回の研修会に参加しての感想・意見等をお書きください。(アンケートより一部)
＜ボランティア教育＞

- ・よい。
- ・理論研修と実技研修があるのでバランスが良かったと思いました。
- ・講話がとても参考になりました。続き（講師の先生がこれはまた別の機会にとおっしゃっていたこともあったので）もお聞きしたいと思いました。
- ・久しぶりに実技ができ、研修が深まりました。運営のみなさん、お疲れ様でした。
- ・講演の内容が興味深かった。「運動は楽しくなければ意味がない。」と言い切ってしまうところが面白かった。実際の授業場面では、時間の制限や学習指導要領の縛りがあるので、体育でこのままの実践は難しいかもしれない。けれど、目先の目標である「技能の向上」を目指すより、「楽しさを味わわせること」を追求する方が、生涯スポーツに繋がりがやすいと感じた。
- ・誰でも楽しめるスポーツの様々な工夫が知れてよかったです。自分でも実践していきたいです！
- ・自分の課題や知りたいことを学ぶことができました。
- ・大変学びの多い研修になりました。貴重なお話や体験など、本当にありがとうございました。
- ・実際に体験しながら行うことができ、いろいろな方法があることを学びました。役員の方、ありがとうございました。
- ・対面形式で、かつ実践できるのは良いですね。体も動かして楽しかったし、大変勉強になりました。勤務校でも試してみたいです。
- ・不器用な児童生徒の運動指導ということで、用具や指導・支援の仕方で、やる気を引き出す、運動が楽しいと感じられるようになるのがよくわかりました。実際に体を動かし、上手にできなかったけど楽しかったです。
- ・数年ぶりに対面での研究会で、講演＋実技の内容で、講演でのお話の内容が実体験することで、より実感できました。
- ・アダプテッドスポーツに関してとても参考になる内容を知ることができた。今後の授業等で活用していきたい。
- ・非常に有意義でした。色々なお話が聞いて参考になりました。

- ・本校でも毎年、講師の大山先生にお世話になり、生徒にアダプテッドスポーツの由来などの知識が備わって楽しく、学ばせてもらっています。今回もまた違った観点で楽しく学ばせてもらいました。
- ・実際に道具を使い、体を動かして体験できたことが良かったです。授業ですぐに活用できる例をたくさん紹介していただき、ありがとうございました。
- ・昨年度までのリモートでのお話も大変参考になりましたが、今年は実際に体を動かして体験することができ、とても良かったです。子どもたちとの活動にぜひ取り入れていきたいと思えます。
- ・新しい知識を得て、不安も解消でき、安心できた。
- ・講師の先生はずっと実際にお話を聞きたいと思っていました。ラッキーでした。
- ・レポート交流は特に必要ないのでは。その分、講師の方の話をたくさん聞けるとよいと思いました。
- ・講演、事例研、レポート交流、どれも良かったです。事務局役員の皆さん、ご準備ありがとうございました。
- ・講義を聞くだけでなく、実技も体験できて、参考になることがたくさんありました。

<コミュニケーション>

- ・庄井先生のお話、楽しみにしていました。とても勉強になりました。
- ・改めて児童理解の大切さを感じました。大変勉強になりました。
- ・特にカンファレンスは参考になりました。ありがとうございました。
- ・カンファレンスがとても長く、研修用にもう少しまとまったものだと良かったと思いました。会場が、地理的にも、音響や温度管理等についても、とても良かったです。
- ・今までの当たり前だった事が、そうではないということに気づきました。ありがとうございました。
- ・業務ばかりに時間がかかり、本来忘れてはならないことを思い出すことができました。
- ・児童理解のためは、相手を認める対話が大変大事だと思いました。
- ・いつも明るい子であっても、それが過剰な演技なのか自然なのかで意味合いが異なることを学びました。いつも明るい子ほど注意深く見守るよう心がけます。
- ・視野が狭く自分よがりになっていたなと反省させられました。
- ・ただ先生の事例がとても良かったです。質問に対する受け答えを聞いていて、「この時はどんな感じだったんですか？」という抽象的な質問にも相手が何を聞きたいのか察するのが凄く上手でした。教師はそういう力が必要なんだなと思いました。
- ・講師の方のお話の中で、弱さという言葉が印象に残っています。良いところ、強さを声掛けのばすだけでなく、弱さを強くすることでもなく、弱さを受け入れるような視点が大切かと思いました。
- ・気持ちが楽になる研修でした😊
- ・生徒を理解するためには、生徒と対話を繰り返し、周りの環境についても知るということが大切であるということがわかりました。また、明るい生徒にも目をむけ、明るさの質を意識して生徒とかかわることが大切だとわかりました。
- ・ウェルビーイングを大切にする保健室運営を目指したいと心に決める講演でした。
- ・講師の先生のお話が分かりやすく、とても良かったです。事例検討も大変良かったです。レポート交流の時間が少なく残念でした。レポート交流はなくてもいいかもしれませんが、やるなら、きちんと時間を設けてほしいです。事務局の皆さま、大変お疲れさまでした。
- ・庄井先生のお話がとてもわかりやすかった。教諭ではないが、学校にいる事務職員として知っておきたい基本だと思った。今回初めて所属してみたが、職種に関係なくこのような話を聞いてありがたかったです。

(2) 今後研修したい内容やオススメする講師がいれば記入をお願いします。

- 児童心理学
- スポーツ以外にも芸術(図工、音楽など)分野でのハンディーを抱える児童への手立てや工夫を学びたいなと思いました。でも、アダプテッドスポーツも楽しいです！
- 実技等を交えた活動ができるとうりがたいです。
- モルックやポッチャなど競技を試してみたいです
- 今年度同様、アダプテッドスポーツで大山先生のお話を聞きたいです。
- 講師は同じではありましたが、内容・教具が毎年異なるので、今後も大山先生を希望します。
- 石狩市家庭児童相談アドバイザーの河岸由里子先生の“子どもの自殺ゲートキーパー講習”、北大大学院教育学研究室加藤弘通先生の“発達と思春期”、札幌市若者支援センター松田考先生の、“子供が社会的養護や学校から離れたあとの若者への支援の実情について”